

岡山発“世界標準の紅茶”

(新見市 (株)アーリーモーニング)

農業

林業

水産業

関連産業



No.1からNo.3用の茶葉は
全て手摘みで行う



リーフティー



ティーバッグ



紅茶カフェ

【経営規模】

- ◆ 茶園(成園) 1.5ha(10,000本植栽)
- ◆ 収穫量は、約3,000kg/年
- ◆ 従業員3名(繁忙期はパート雇用)

【取組の経緯】

紅茶で生計を立てようと紅茶専門家の道へ。紅茶を心から勉強するためには、土に触れなければとの思いから、インドのダージリン地方と酷似した気象条件を持つ新見市に移住。平成17年から、茶樹の栽培を始める。

【取組の概要】

- ◆ 茶樹栽培の状況
栽培品種は、べにふうき。収穫は春から秋にかけて手摘みと機械摘みを併用して行う。手摘みの茶葉は、高級品(No.1からNo.3)に使用する。販路が拡大しつつあり、茶葉不足解消のため、平成30年度に5,000本の苗を新植した。
- ◆ 製茶加工
紅茶製造の主要な機械類は、インド及びスリランカから導入。製造工程は海外とほぼ同じであるが、発酵時間等は、手触りや香りなどを入念にチェックし、自らの経験で判断していく。
自社製の紅茶(EIJI MIYAMOTOブランド)は、No.1からNo.7の7種類あり、茶葉は収穫期の違いにより四季折々の味わいを持ち、世界でも認められる日本産紅茶に仕上がっている。
- ◆ 販売先
天満屋、JR西日本などのほか、インターネットでも販売している。
また、近年では、各種企業とコラボしたオリジナル商品を製造・販売する取組が増えている。
6次産業化発表会で知り合ったバイヤーを通じて東インド会社と繋がりができ、ロンドン各店舗の店長を集めた試飲会で、「ダージリンよりダージリンらしい」と高評価を得た。
今後も、国内での販売先をベースに、世界的に通用する高品質な紅茶で販路拡大を目指していく。

【代表者からのメッセージ】

- ◆ 紅茶は世界中で飲まれ、誰もが知っている飲み物であり、ごまかしが効かない。自社ブランドの「EIJI MIYAMOTO」を、“世界標準の普通の紅茶”にしたいと思っている。また、イギリス大使館で、常用紅茶になることも目標のひとつ。
- ◆ 地場で愛される紅茶、日本で愛される紅茶、世界で愛される紅茶を目指し、今後も取組を上げていく。

【お問い合わせ先】(株)アーリーモーニング

新見市大佐小阪部2239-8 TEL:0867-98-3939
HPアドレス: <https://www.earlymorning.co.jp/>